



2023年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ビジョン

STOCK CODE : 9416

2023年5月12日

業績ハイライト
2023年12月期第 1 四半期実績

P.3~

2023年12月期業績予想

P.10~

成長に向けた取組みの内容

P.17~

サステナビリティ ~ESG+SDGs~

P.28~

業績ハイライト 2023年12月期 第1四半期 実績

連結損益計算書



◆売上高**48.8%**増収、営業利益**242.3%**と大幅増益。

◆2023年度通期進捗率は売上**31.4%**、営業利益**46.1%**と順調に推移。

(百万円、%)	2022年 1 Q		2023年 1 Q		YoY増減率		通期業績 予想	進捗率
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
売上高	5,609	100.0%	8,347	100.0%	2,738	48.8%	26,553	31.4%
売上原価	3,064	-	4,094	-	1,030	33.6%	-	-
売上総利益	2,544	45.4%	4,252	50.9%	1,708	67.1%	14,135	30.1%
販売管理費	2,140	38.2%	2,870	34.4%	729	34.1%	11,134	25.8%
営業利益	403	7.2%	1,382	16.6%	978	242.3%	3,000	46.1%
経常利益	406	7.2%	1,423	17.0%	1,016	250.4%	2,998	47.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	245	4.4%	940	11.3%	694	282.4%	1,990	47.2%

セグメント別売上高



- ◆グローバルWiFi事業は**95.1%**増収、情報通信サービス事業は堅調に推移。
- ◆グランピング・ツーリズム事業は山中湖の施設が本格稼働。

(百万円、%)	2022年 1 Q		2023年 1 Q		YoY増減率		通期業績 予想	進捗率
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
売上高	5,609	100.0%	8,347	100.0%	2,738	48.8%	26,553	31.4%
グローバルWiFi事業	2,618	46.7%	5,108	61.2%	2,489	95.1%	13,741	37.2%
情報通信サービス事業	2,875	51.3%	2,984	35.8%	109	3.8%	11,623	25.7%
グランピング・ ツーリズム事業	67	1.2%	215	2.6%	147	218.5%	885	24.3%
報告セグメント計	5,561	99.2%	8,308	99.5%	2,746	49.4%	26,250	31.6%
その他	53	0.9%	48	0.6%	△5	△9.6%	302	15.9%
調整額	△5	-	△8	-	△3	-	-	-

セグメント別利益



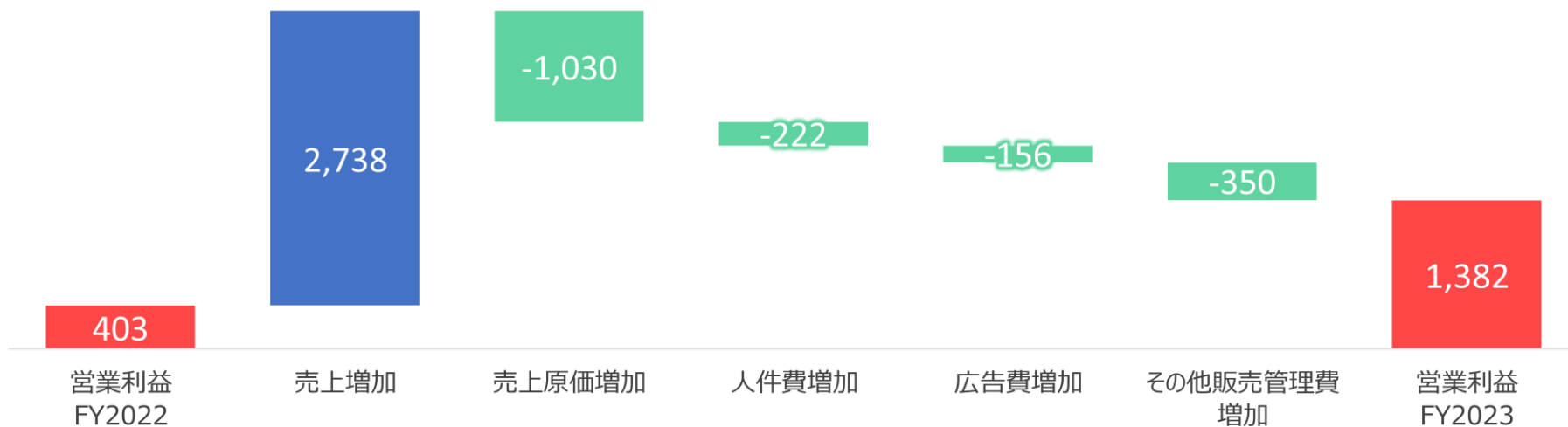
- ◆グローバルWiFi事業は**1,083百万円**増益、営業利益率**28.3%**と過去最高。
- ◆情報通信サービス事業、グランピング・ツーリズム事業は堅調に推移。

(百万円、%)	2022年1Q		2023年1Q		YoY増減率		通期業績 予想	進捗率
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率		
セグメント利益	403	7.2%	1,382	16.6%	978	242.3%	3,000	46.1%
グローバルWiFi事業	359	13.7%	1,443	28.3%	1,083	301.5%	2,502	57.7%
情報通信サービス事業	347	12.1%	302	10.1%	△45	△13.0%	1,708	17.7%
グランピング・ ツーリズム事業	2	3.3%	6	3.0%	4	192.2%	45	14.4%
報告セグメント計	709	12.7%	1,752	21.1%	1,043	147.1%	4,256	41.2%
その他	△36	-	△29	-	6	-	53	-
調整額	△268	-	△340	-	△71	-	△1,309	-

営業利益の増加要因

売上高はグローバルWiFiが旅行需要回復により、ご利用者の増加、物販系商材（OA機器、移動体通信機器等）が堅調に推移し、**48.5%**増収。売上総利益は海外通信原価等の改善により、**66.9%**と大幅増。

営業利益は売上総粗利が大幅に増加した一方、販売管理費が業績連動費用含め微増だったことから、第1四半期の実績として、2022年**7.2%**から2023年**16.5%**に大幅改善。

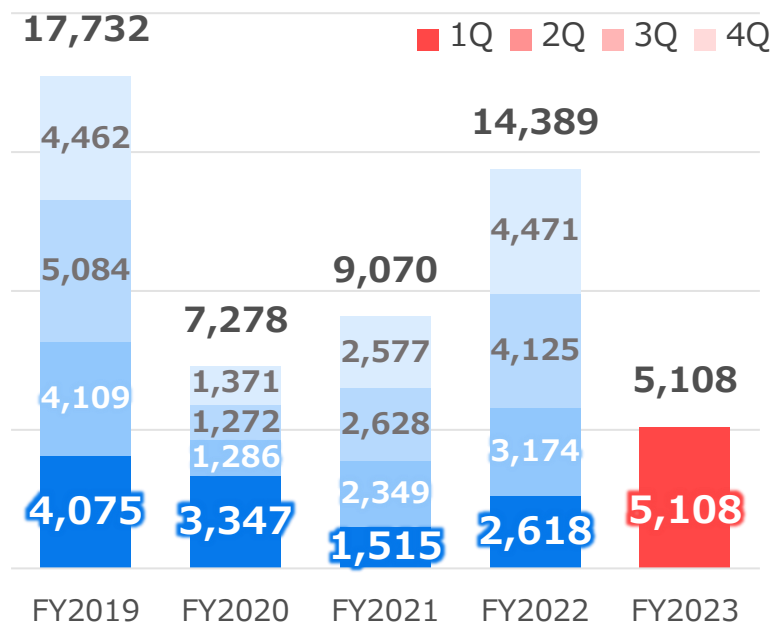


グローバルWiFi事業 業績推移



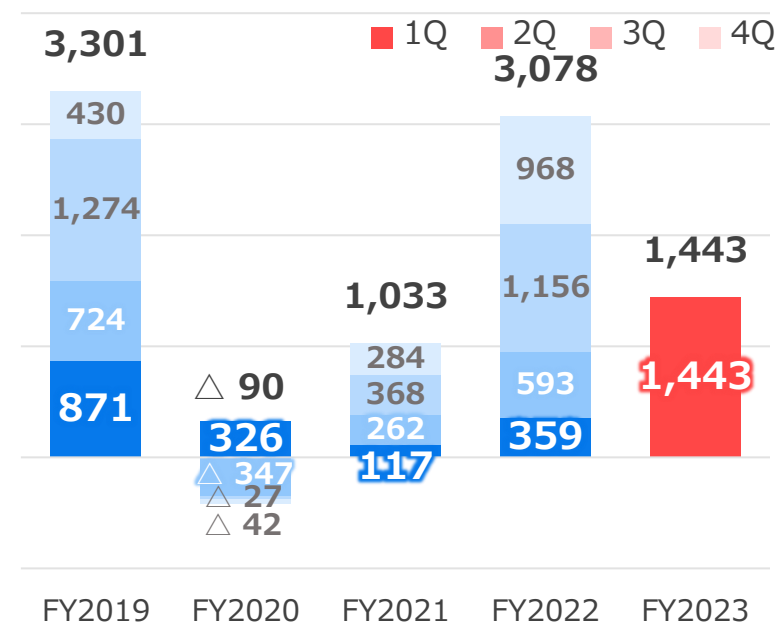
- 2023年1月～3月の出国者数と訪日外国人数の平均は2019年同期間対比でそれぞれ**34.1%**、**59.5%**まで回復。参照：日本政府観光局(JNTO)
- 2019年1月～3月対比で、アウトバウンドのレンタル件数は**44.2%**、売上高は**75.2%**まで回復。（※グローバルWiFi for Biz含む）、インバウンドのレンタル件数は**105.1%**、売上高は**124.1%**増加。
- 空港の水際対策業務及びPCR検査は第1四半期において継続。

売上高



セグメント利益又は損失 (△)

(百万円)

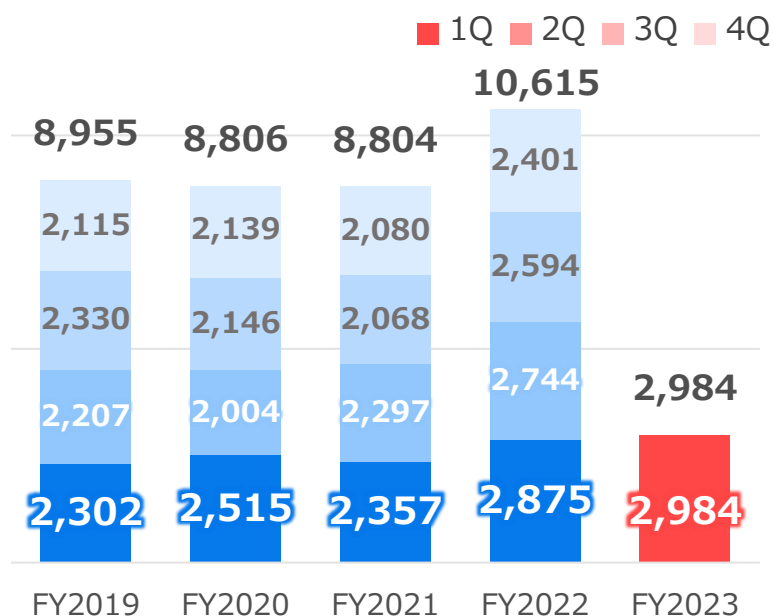


情報通信サービス事業 業績推移



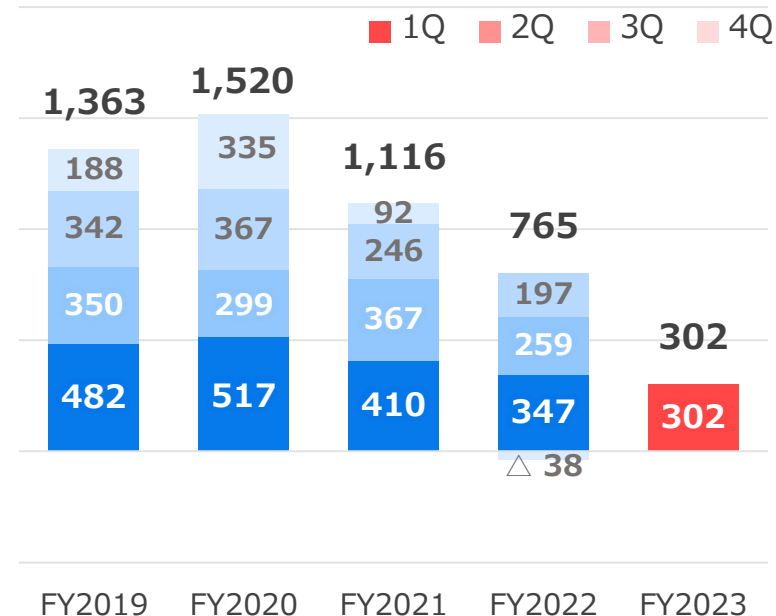
- 物販系商材（OA機器・移動体通信機器等）の販売が引き続き堅調に推移。
- 月額制自社サービスの積極的な拡販を展開。
- 営業活動強化のため、中途採用を実施。

売上高



セグメント利益又は損失 (△)

(百万円)



| 2023年12月期業績予想

通期業績予想



(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	25,487	100.0%	26,553	100.0%	1,065	4.2%
売上原価	13,157	51.6%	12,417	46.8%	△739	△5.6%
売上総利益	12,330	48.3%	14,135	53.2%	1,804	14.6%
販売管理費	9,916	38.9%	11,134	41.9%	1,218	12.3%
営業利益	2,414	9.5%	3,000	11.3%	585	24.3%
経常利益	2,422	9.5%	2,998	11.3%	575	23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,548	6.1%	1,990	7.5%	442	28.6%

セグメント別通期業績予想【売上高】



(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	14,389	56.5%	13,741	51.8%	△648	△4.5%
情報通信サービス事業	10,615	41.6%	11,623	43.8%	1,008	9.5%
グランピング・ ツーリズム事業	340	1.3%	885	3.3%	545	160.3%
報告セグメント計	25,345	99.4%	26,250	98.9%	905	3.6%
その他	197	0.8%	302	1.1%	104	53.0%
調整額	△55	-	0	-	55	-

セグメント別通期業績予想【利益】



(百万円、%)	2022年12月期		2023年12月期		YoY増減率	
	実績	利益率	予想	利益率	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	3,078	21.4%	2,502	18.2%	△575	△18.7%
情報通信サービス事業	765	7.2%	1,708	14.7%	943	123.2%
グランピング・ ツーリズム事業	△122	-	45	5.1%	168	-
報告セグメント計	3,721	14.7%	4,256	16.2%	535	14.4%
その他	△119	-	53	17.8%	173	-
調整額	△1,186	-	△1,309	-	△123	-

通期業績推移（四半期別推移）



		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期
2020年12月期	売上高	5,989	3,641	3,477	3,546	16,654
	構成比（対通期）	36.0	21.9	20.9	21.3	-
	営業利益又は営業損失（△）	488	△503	73	45	103
	構成比（対通期）	-	-	-	-	-
	営業利益率	8.1	-	2.1	1.3	0.6
2021年12月期	売上高	3,938	4,706	4,747	4,708	18,100
	構成比（対通期）	21.8	26.0	26.2	26.0	-
	営業利益	285	368	359	91	1,105
	構成比（対通期）	25.9	33.3	32.5	8.3	-
	営業利益率	7.3	7.8	7.6	1.9	6.1
2022年12月期	売上高	5,609	6,019	6,849	7,009	25,487
	構成比（対通期）	22.0	23.6	26.9	27.5	-
	営業利益	403	517	1,027	464	2,414
	構成比（対通期）	16.7	21.5	42.6	19.2	-
	営業利益率	7.2	8.6	15.0	6.6	9.5
2023年12月期	売上高	8,347				
	構成比（対通期）	-				
	営業利益	1,382				
	構成比（対通期）	-				
	営業利益率	16.6				

外部環境及び事業方針（全体）

個人消費の回復や企業による設備投資により、内需主導の緩やかな景気の回復が続く中、各国における水際対策の緩和により国際的な人の往来も一定程度増加する傾向。
既存事業の収益及び収益率の向上を図りつつ、新事業・新サービスの拡充を行いながら、事業活動を実施。

グローバルWiFi事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により実施されていた水際対策につき、入国制限の緩和・全廃の動きにより、空港検疫受託業務及びPCR検査の終了並びに国内WiFiの減少を加味。

グローバルWiFiとNINJA WiFiに関しては、順調に回復傾向。今後については、本予算計画を作成した時点における回復速度よりも早く回復する可能性もあり。

情報通信サービス事業

物販系商材の仕入（半導体不足等の影響による機器仕入）等への影響は引き続き見込まれるが、1つの事業や販売チャンネルに依存しない複数の事業（商品・サービス）・販売チャンネルを持つ強みを活かすことで、外部環境の変化へ柔軟に対応可能であり堅調に推移。

自社サービス（月額制）販売強化、長期的に安定した収益基盤の構築継続。

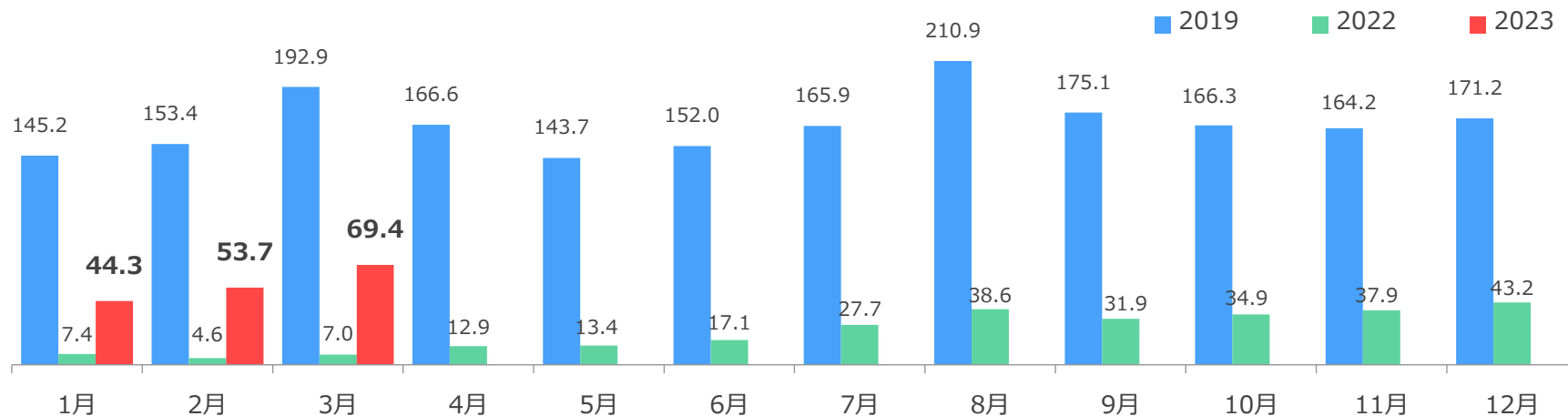
既存事業の生産性向上及び新規事業であるグランピング・ツーリズム事業の育成に注力するとともに、強い収益基盤の構築に取り組み、2022年3月1日に発行決議しました第4回新株予約権の行使条件（業績条件）の**早期達成＝企業価値の向上**を目指してまいります。

名称	株式会社ビジョン 第4回新株予約権
発行数	7,200個 新株予約権 1個につき100株 普通株式720,000株
発行価格	新株予約権 1個当たり800円
対象	当社取締役、当社従業員、当社子会社取締役 32名
行使条件 (業績条件)	2023年12月期～2025年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が40億円を超過した場合行使可能割合50% 2023年12月期～2027年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が50億円を超過した場合行使可能割合100%

成長に向けた取組みの内容

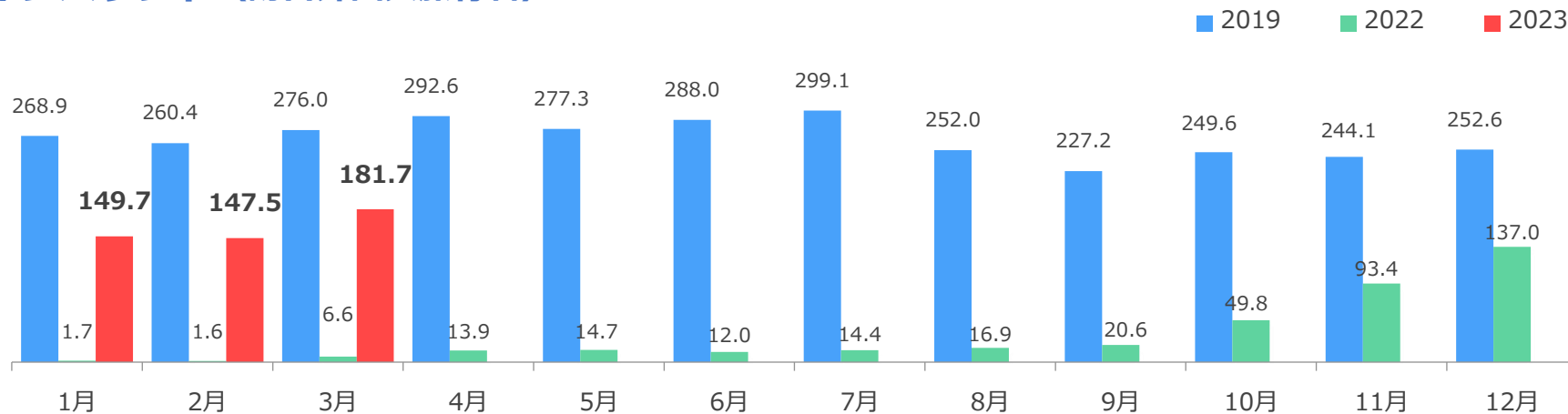
アウトバウンド（日本から海外への渡航者）

(万人)



インバウンド（訪日外国人旅行者）

(万人)



海外

グローバルWiFi for Biz積極拡販

法人向け社内常備型「グローバルWiFi for Biz」、引き続きテレワーク兼用としての提案により販売好調（保有契約数及び通信利用実績増加）。

お申込み・お受け取り・ご返却が不要

1台で世界中どこでもインターネット
グローバルWiFi for Biz



社内に1台の『グローバルWiFi for Biz』があれば、テレワークでのご利用から、急な海外出張の際もお申し込みの手配不要ですすぐにご利用できます。

海外での次世代通信



- ✓ 自分のスマホが120ヶ国以上で使える！
- ✓ 自分にあった料金プランが選べる！
- ✓ 荷物が増えない、受取りや返却もなし！

海外用Wi-Fiルーターレンタル業界初！

超高速通信5Gプラン



現在10エリアにて展開中。
今後も対応エリアを順次拡大。

国内

訪日外国人向けにNINJAWiFiの販売強化

2023年1月～3月における訪日外国人の平均は、2019年同期間対比で59.5%まで回復。参照：日本政府観光局(JNTO)

フリーWiFiスポットが少ない日本で、顧客の利用ニーズに応える。

届いてすぐに使える



テレワーク
・法人利用



引っ越し



入院



国内旅行・
一時帰国



ビジネス（テレワーク、オンライン研修及び会議）、入院、引越、自宅回線との併用等。プロモーションの強化により入院、引越（固定回線開通までの一時利用）利用増加。

訪日外国客向け
Wi-Fiルーターレンタルサービス



ベスト
プライス



データ容量
無制限！



どこでも
使える！



ご利用は
カンタン！



受取り拠点数
No.1！



お客様の声から生まれたサービス

Vision WiMAX[®]
powered by **UQ WiMAX**

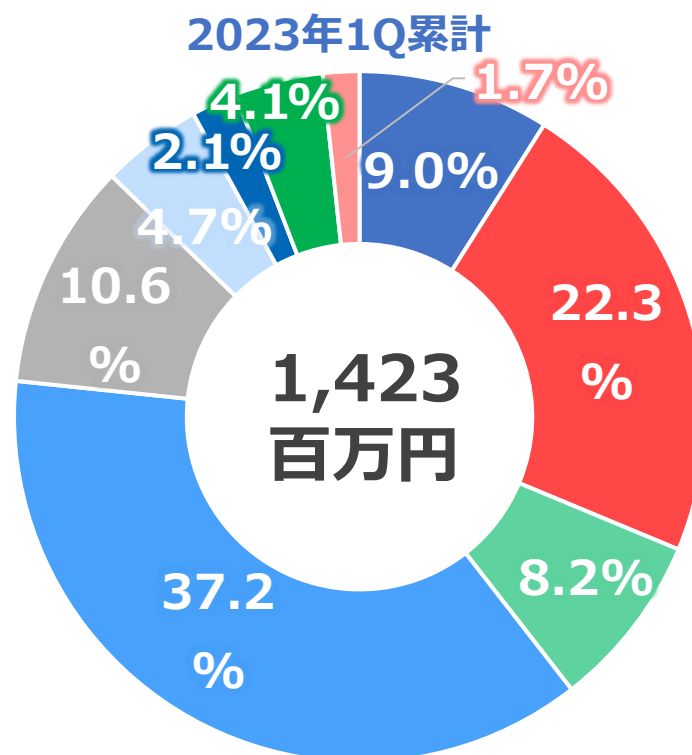
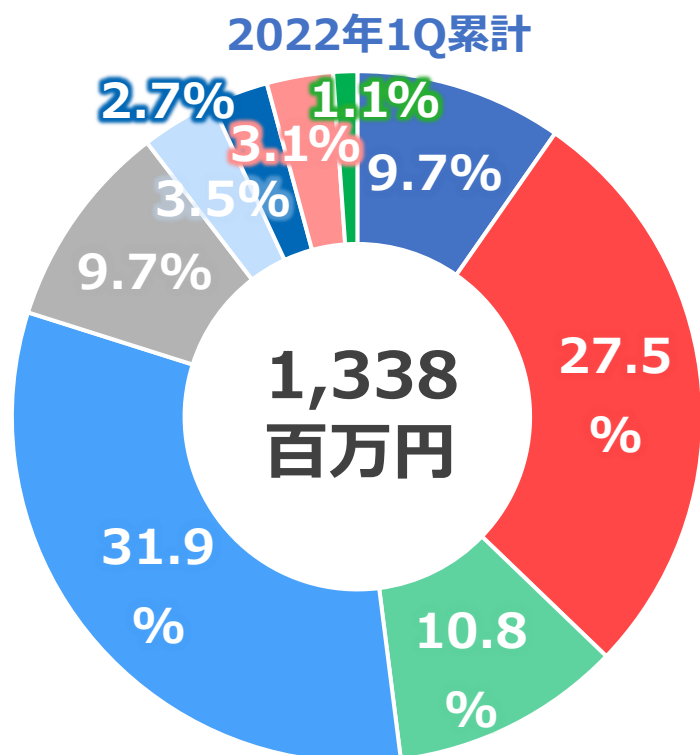


Wi-Fiルーター購入を検討されているお客様向けのレンタルではない販売モデルのサービス。購入前にレンタルでのお試し利用でご自宅等の通信環境を確認した上でニーズにあったWi-Fiルーターを購入。
⇒解約時には端末を下取り（Vision WiMAX独自サービス）。

情報通信サービス事業 売上総利益構成

複数の事業（商品・サービス）及び販売チャネルを持つ強みを活かし、外部環境の変化に柔軟に対応し堅調に推移。

OA機器販売事業及び移動体通信機器（テレワーク対応用及びスマートフォンへの切替等）等の物販系商材の販売堅調。



- 固定通信事業
- 移動体通信事業
- ブロードバンド事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連事業
- スペースマネジメント事業
- その他

自社サービス（月額制）

～顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供～



自社サービス（月額制）「VWSシリーズ」販売好調。

自社開発及び自社で利用しているサービスをユーザーへ展開（DX推進）。クラウドで必要な機能を必要な分だけ月額制で提供。



すべての企業へ、もっと働きやすい環境を

「VWS」で「クラウド化」

クラウドツールで日々の業務を効率化しテレワーク等の多様な働き方をサポート。



New!

ネットワークカメラ
提供開始

小さい・あんしん・楽しい
Edge AI ネットカメラ



18円/日
ネットワーク
カメラ



格安の価格で、安心を。

月額 **550** 円/台

※1 月額550円からのご利用になります。

簡易的な事務所を利用されている方や、飲食店での防犯対策をしていない方などにオススメのネットワークカメラ。

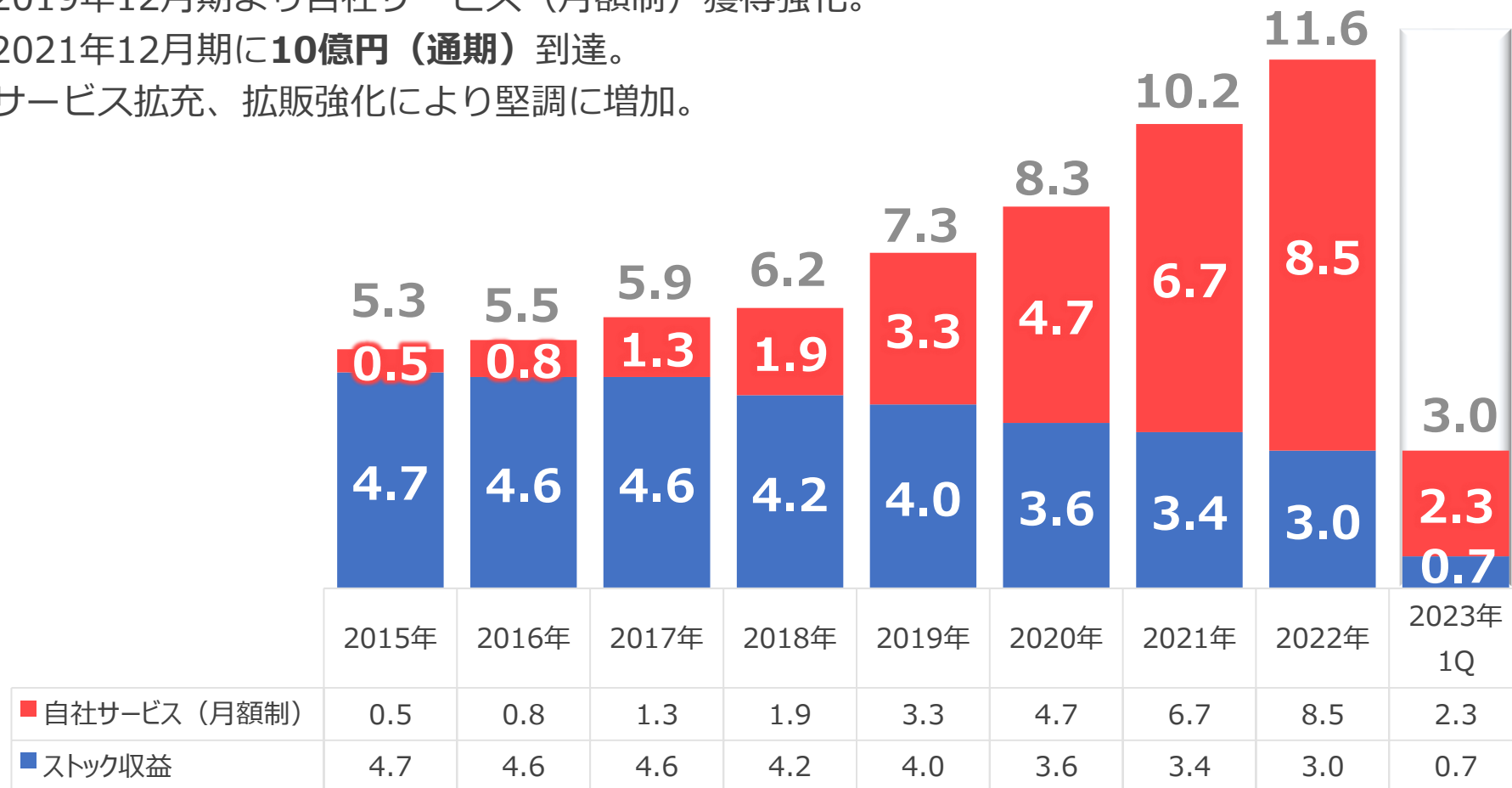
長期的に安定した収益基盤となるストック収益及び自社サービス（月額制）強化。

(億円)

2019年12月期より自社サービス（月額制）獲得強化。

2021年12月期に**10億円（通期）**到達。

サービス拡充、拡販強化により堅調に増加。



ストック収益：情報通信サービス事業における加入取次契約に伴う継続手数料及びOA機器販売事業における保守メンテナンス料金等の数値となっております。

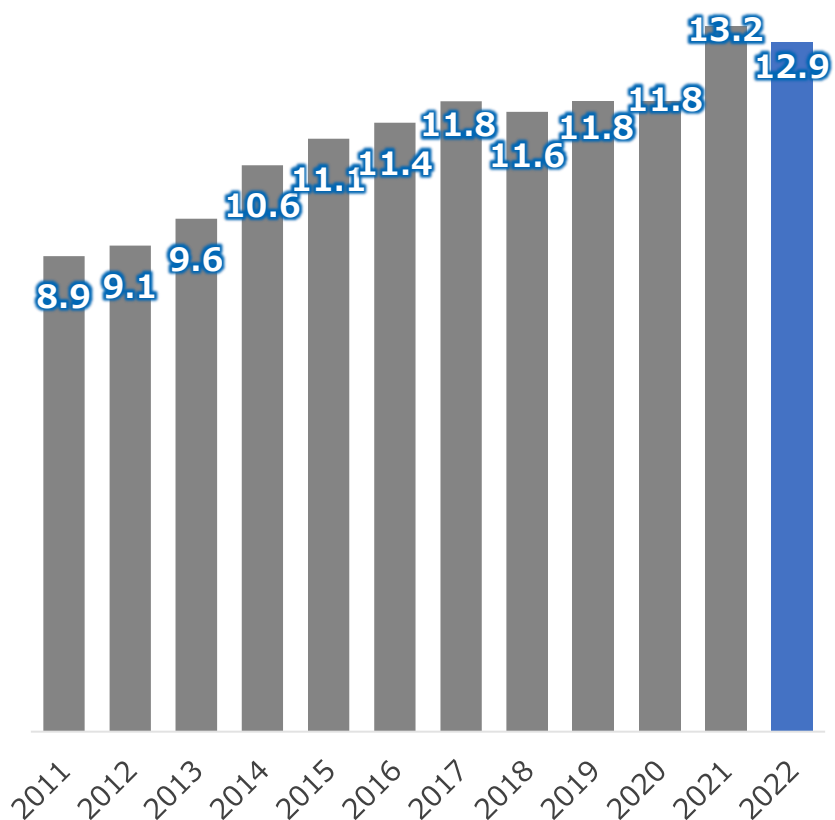
設立登記数（総数）：129,548件

年間約13万社。

（政府による積極的な創業・企業支援により継続した増加傾向）

約15年の実績を持つWebマーケティングのノウハウを活用した集客。川上戦略。

（単位：万件）



年間国内で新規設立される法人の

約10社に1社※

と取引がある強み。

※当社と新規取引を開始した設立後6ヶ月以内の企業（個人事業主含む）合計（当社調べ）

取り扱いサービス及び商品の変動により獲得数は変動いたします。

J-Startupのサポーター企業に認定

↓ J-Startup

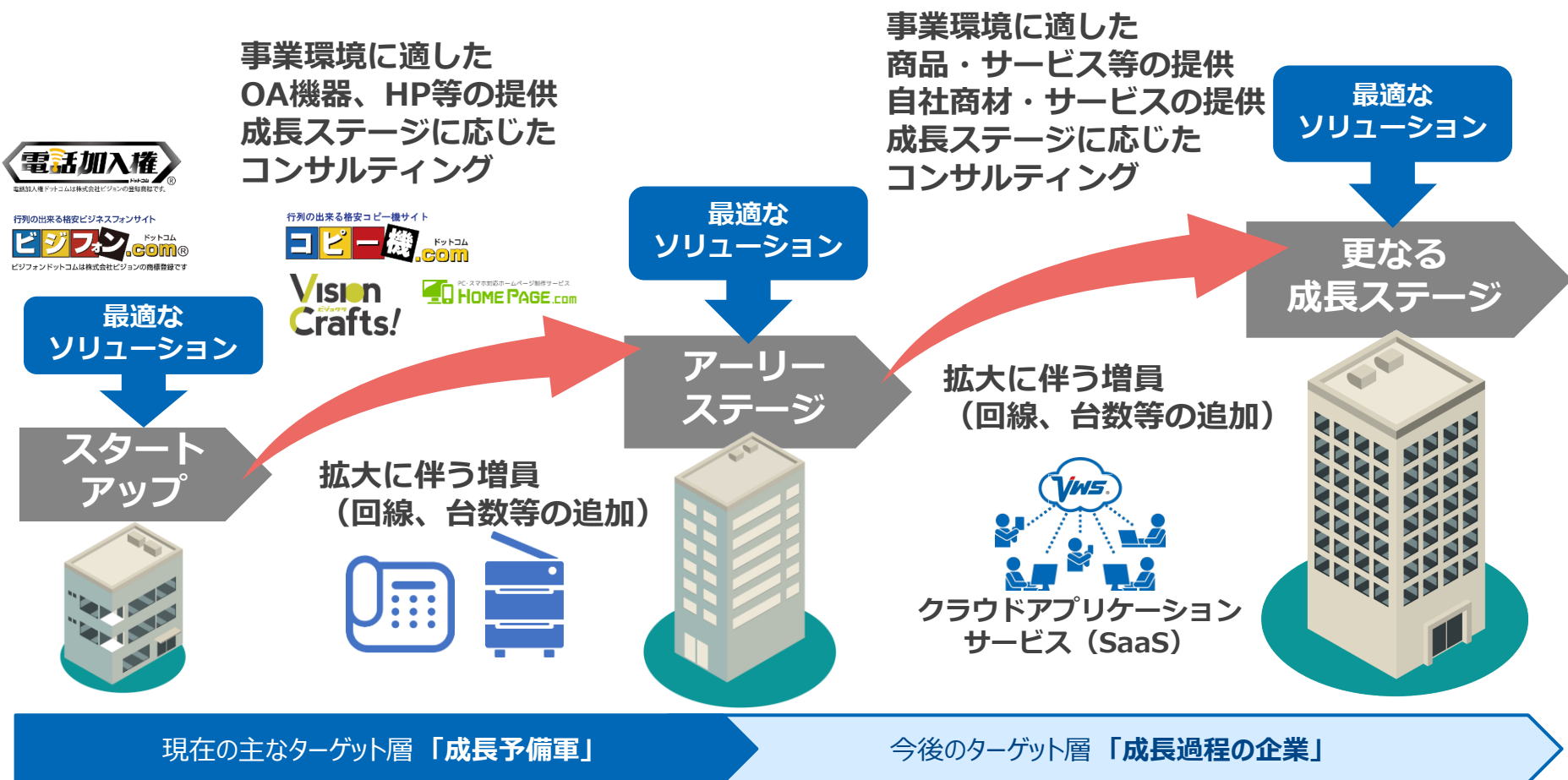
情報通信関連サービスのご提供に加え、会社設立申請代行、助成金・補助金案内などを通じた協業や支援を行ってきています。

- ① 商品、サービスの販売代理
- ② 自社顧客、関係会社等の紹介
- ③ レンタル会議室の料金優遇
- ④ 国内外で利用できるWi-Fiルーター

「グローバルWiFi for Biz」の料金優待 等。

ストック型ビジネスモデル

顧客企業の成長に寄り添い続け、成長ステージに応じた最適なソリューションを提供。
独自ノウハウのCRM（顧客関係・継続取引）により、利益が積み上がっていく構造。



	既存事業	新規事業・サービス構築		
方針	生産性の向上 オンライン、ニューノーマルに順応 アップセル・クロスセル強化（オンライン商談含む）	3つ目の柱となる事業の育成 時代の変化に対応する3本柱の事業体制		
キーワード	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供 ✓ 営業体制構築・強化（オンライン） ✓ アップセル・クロスセル強化 ✓ 収益構造ブラッシュアップ ✓ 自社サービス強化・拡充 ✓ グローバル展開とインバウンド 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ウィズコロナ、ニューノーマル順応 ✓ インバウンド ✓ 販売チャネル・事業体制活用 ✓ 顧客基盤活用 ✓ お客様の声を取り入れたサービス ✓ 地方創生 		
販売チャネル事業体制				
顧客基盤	スタートアップ成長過程の法人顧客	海外企業等と取引のある法人顧客	官公庁・自治体 学校等	旅好きな 個人顧客 ※インバウンド含む
	法人内個人			



VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉

日本初全室プライベートルームに源泉掛け流し露天風呂を有している

「こしかの温泉」を、リニューアル。スケールアップした一大グランピング施設としてグランドオープン。

プライバシーが確保された占有空間、専用バス・トイレ・洗面付き且つ専用食事スペースも備えた機能性の高い居住空間。

空港からクルマで約15分の好アクセス。自然豊かな霧島で焚火やキャンプ、温泉、そしてサウナと快適空間をご提供。



VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖

VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖

2022年12月グランドオープン

世界遺産の富士山を望み、世界的に人気の自然・風景だけでなく、周辺に御殿場プレミアムアウトレット、富士急ハイランドといった有力観光コンテンツがあり旅行プランを立てやすいロケーション。

富士山をはじめとする大自然に囲まれた山中湖での滞在体験を通して、非日常の時間をご提供。どなたにも心地よいと感じていただける新しいグランピング空間。



| サステナビリティ ~ESG+SDGs~

経営の意思決定の迅速化

2023年3月30日 経営体制の変更を発表

代表取締役会長CEO

さの けんいち

佐野 健一

1969年鹿児島県生まれ。
高校卒業後、株式会社光通信に入社し、すぐにトップ営業マンになる。その後、各事業部長を歴任し、1995年静岡県富士市で起業。スタートアップ向けの情報通信サービス事業、世界200以上の国と地域で展開するグローバルWiFi事業を2軸に、2022年からグランピング事業を展開。

代表取締役社長COO

おおた けんじ

大田 健司

1971年兵庫県生まれ。
大学卒業後の1年数ヶ月アジア各国を放浪したのち、株式会社ビジョンにアルバイトとして入社。情報通信サービス事業、グローバルWiFi事業の成長に貢献。営業マンからスタートし、執行役員、取締役常務執行役員COO兼営業本部長を経て、2023年3月30日より代表取締役社長COOに就任。

旧役職

佐野 健一	代表取締役社長
大田 健司	取締役営業本部長

新役職

代表取締役会長 CEO
代表取締役社長 COO

地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン

ビジョンは持続可能な地球環境や社会のために、持続的成長をステークホルダーに約束し、多くの事業活動に取り組んでいます。
そのマテリアリティの最上位にスローガンとしての『共生成長課題』を設定し、すべての事業活動の最重要指針とします。

基盤活動課題

— 社会からの要請 —

事業活動による負の影響

must

ESG	テーマ	マテリアリティ
E	環境保護	脱炭素社会実現と環境保護への取り組み
G	働き方改革	全従業員が多様且つ安心して働ける会社

価値創造課題

— 社会からの期待 —

事業活動による正の影響

should

ESG	テーマ	マテリアリティ
S	地方創生	雇用創出・地域活性化で地方経済に貢献
S	未来創造	未来を担う子ども・医療支援で社会に貢献

当社グループは「**情報通信の未来を、すべての人たちの未来のために**」という思いのもとに、ESGに配慮した経営と事業戦略を通して、サステナブルな成長と企業価値向上を目指しております。また、国連が定めるSDGsに代表される社会課題の解決等を通じて、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献いたします。



Environmental
環境



GSLを通じて環境貢献に取り組んでいます。

IT地球温暖化対策グリーンサイトライセンス

震災リゲイン

特定非営利活動法人 震災リゲイン



一般社団法人エコロジー・カフェ



Social
社会



えるぼし2つ星取得



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人
2023



Japan Heart

特定非営利活動法人ジャパンハート



ビジョンキッズ保育園



Governance
コーポレート・ガバナンス



コンプライアンス・内部統制



IS 650094 / ISO
27001 :2013

PCR検査

ウィズコロナ、アフターコロナにおいて不可欠な社会インフラサービスとして“PCR検査”各種サービスの提供。

東京都のPCR等検査無料化事業へ参加

※提携先（株式会社医道メディカル）新型コロナウイルス感染症無料検査事業者として認定。

新宿店：新宿PCRセンター東口店

渋谷店：渋谷PCRセンター渋谷センター街店
(2023年4月末閉店)

上記店舗の他、利便性の高い法人（宅配）検査サービスや訪問検査サービス（東京23区内限定）も提供。



水際対策

新型コロナウイルス感染症のための水際対策（2023年5月末業務終了予定）

日本入国時における検疫措置の実施

日本に入国するすべての方は「Visit Japan Web」より、検疫手続きの事前登録が必要。

「Visit Japan Web」で事前登録手続きをすることでスムーズな入国が可能。

当社における取り組み

空港検疫所が実施している水際対策業務の一部を受託。

- Visit Japan Webで事前登録手続きを行ってきた入国者の方の登録状況の確認。
- 事前登録を行っていない方へのQRコードの作成補助等。



出典：デジタル庁 (<https://www.digital.go.jp/>)

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp